

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 澤田ホールディングス(株)

コード番号 8699 URL <http://www.sawada-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澤田 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 三嶋 義明

TEL 03-4560-0398

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,625	67.4	2,471	455.2	2,868	151.8	1,062	—
23年3月期第2四半期	8,140	22.1	445	—	1,138	△7.3	69	△91.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,192百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	26.45	26.13
23年3月期第2四半期	1.74	1.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	173,501	30,124	14.6
23年3月期	155,204	28,033	15.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 25,330百万円 23年3月期 24,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

当社グループの主たる事業である証券業、商品先物取引業は、市場環境の変動の影響を大きく受けることから業績予想を合理的に行うことが困難であるため開示をしておりません。なお、四半期業績の迅速な開示を行ってまいります。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	40,953,500 株	23年3月期	40,953,500 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	805,852 株	23年3月期	805,747 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	40,147,678 株	23年3月期2Q	40,147,977 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループの主たる事業である証券業、商品先物取引業は、市場環境の変動の影響を大きく受ける状況にあり、業績予想を合理的に行うことが困難であることから、予想配当額を開示しておりません。予想配当額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(4) セグメント情報等 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

※ 当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、決算短信発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により被害を受けたサプライチェーンの回復や生産活動の復旧等が一部で見受けられ、今後の復興需要が期待されます。しかしながら、原発事故による放射能汚染、風評被害及び電力供給不足等の問題は長期化しており、また、海外においても欧州諸国の財政危機や米国の景気減速懸念等を背景として円高が進行する等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の営業収益は136億25百万円（前年同期比54億85百万円増）、経常利益は28億68百万円（前年同期比17億29百万円増）、四半期純利益は10億62百万円（前年同期比9億92百万円増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 証券関連事業

当第2四半期における日本の株式市場は、ギリシャ問題再燃を発端としたユーロ安や米国景気の先行き不安等の世界経済の景気後退懸念の影響を受け日経平均株価は9,868円で始まり、その後、回復の兆しを見せることなく9月末の終値は9,060円となりました。東証1部の1日の売買代金も平均で7月は1兆1,200億円、8月は1兆3,000億円、9月は1兆1,500億円と低調に推移しました。

こうした環境の中、エイチ・エス証券株式会社につきましては、株式市況に左右されない募集物商品の販売に注力してまいりました。新聞を中心として積極的に広告宣伝を展開し、全国延べ151会場で外債セミナーを開催した他、株式会社日経CNBCとのタイアップセミナーを実施する等の新しい試みも行いました。その結果、約26億円の外債を販売しております。

また、株式取引につきましては、9月にモバイル用株式取引サービス「株マル特ケータイ」を大幅に強化してまいりました。スマートフォン用としては業界初となる、一連の株取引をスマートフォンのみで完結できるパソコン要らずの株式取引アプリ「スマ株」の提供を開始しました。また、携帯電話用の株式取引ツール「モバ株」につきましても、新機能追加等のバージョンアップを行いました。なお、テレビCMをはじめ、新聞、ラジオ、電車中吊り広告、主要ターミナル駅構内における体験イベント等を実施して「スマ株」の認知度向上を図っております。

結果として、当第2四半期連結累計期間の営業収益は15億10百万円（前年同期比3億68百万円減）、営業利益は0百万円（前年同期比25百万円減）となりました。

#### (受入手数料)

当第2四半期連結累計期間の受入手数料は4億44百万円（前年同期比4億38百万円減）となりましたが、その内訳は以下のとおりであります。

##### 委託手数料

「委託手数料」は2億84百万円（前年同期比1億75百万円減）となりました。これは主に株式委託手数料の減少によるものであります。

##### 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

主に投資信託の販売手数料で構成される「募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料」は23百万円（前年同期比6百万円減）となりました。

##### その他の受入手数料

主に投資銀行業務と店頭外国為替証拠金取引に係る手数料で構成される「その他の受入手数料」は1億36百万円（前年同期比2億22百万円減）となりました。

#### (トレーディング損益)

当第2四半期連結累計期間のトレーディング損益につきましては、ディーリング業務と外国債券が堅調に推移した結果、株券等は1億29百万円（前年同期比71百万円増）、債券等は7億53百万円（前年同期比3億円増）となり、合計で8億83百万円（前年同期比93百万円増）となりました。

#### (金融収支)

当第2四半期連結累計期間の金融収益は1億83百万円（前年同期比23百万円減）、金融費用は68百万円（前年同期比11百万円減）となり、金融収益から金融費用を差し引いた金融収支は1億15百万円（前年同期比12百万円減）となりました。

#### (販売費及び一般管理費)

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は14億42百万円（前年同期比3億31百万円減）となりました。

## ② 銀行関連事業

ハーン銀行 (Khan Bank LLC) のあるモンゴルの経済は、平成22年半ばから大型鉱山開発開始により成長に転じております。また、現在は別の大型鉱山開発の落札者選定も進んでおります。貨幣供給が高い伸びを示し、インフレ懸念も台頭してきておりますが、今後の高い経済成長に期待が寄せられております。

ハーン銀行 (Khan Bank LLC) につきましては、業績面では融資残高が順調に伸びており、昨年末と9月末を比較して約65%増加し、預金残高も約20%増加する等、モンゴルの経済発展と共に成長しております。また、資金運用収益、役員取引等収益、その他業務収益もそれぞれ増加しております。

結果として、当第2四半期連結累計期間の営業収益は75億96百万円（前年同期比22億22百万円増）、営業利益は24億52百万円（前年同期比15億73百万円増）となりました。

## ③ 商品先物関連事業

国内商品先物業界につきましては、8月8日にコメの先物取引が東京穀物商品取引所及び関西商品取引所に試験上場を果たし、72年ぶりに業界の悲願であったコメの先物取引が復活しました。また、世界的な金価格の高騰を受けて、東京工業品取引所の金先物価格が1グラムあたり4,754円の史上最高値を更新し、市場関係者のみならず世間一般の注目を集めました。

こうした環境の中、エイチ・エス・フューチャーズ株式会社につきましては、コメ先物取引上場キャンペーンや新規口座開設キャンペーン等の顧客開拓に注力し、また、定期的なセミナー開催の継続や投資サービスの充実を図ってまいりました。活発な市況を背景に営業収益は回復基調にあり、営業収支におきましても若干の改善が見られました。

結果として、当第2四半期連結累計期間の営業収益は1億74百万円（前年同期比54百万円増）、営業損失は2億70百万円となりました。

## ④ 債権管理回収関連事業

国内のサービサー業界につきましては、中小企業金融円滑化法や東日本大震災等の影響から、市場に供給される不良債権は減少しており、金融機関が行うバルクセールでは競争激化により価格が高騰する傾向にあります。

業界全体は依然として厳しい状況にありますが、エイチ・エス債権回収株式会社につきましては、引き続き地方銀行等の地域金融機関を中心に積極的な営業を展開して着実に取引先を増やした結果、当第2四半期累計期間で債権額99億33百万円の債権を買収することができました。また、回収部門につきましても、受託案件からの安定的な収益と買取案件からの回収の両立により収益の安定化を図っております。

結果として、当第2四半期連結累計期間の営業収益は6億98百万円（前年同期比53百万円増）、営業利益は29百万円（前年同期比25百万円増）となりました。

## ⑤ 不動産関連事業

株式会社アスコットにつきましては、平成23年9月期を初年度とした新中期経営計画「Growing Up 2015」に基づき、創業以来培ってきた分譲マンション開発への経営資源の集中、地方都市で展開する不動産流動化物件の売却、経常費用並びに金融費用の更なる低減等を行っております。また、完売済みの分譲マンション3物件の竣工引渡は予定のとおりとなり、当第2四半期までに2物件の引渡し完了しております。

結果として、当第2四半期連結累計期間の営業収益は36億27百万円（前年同期比35億31百万円増）、営業利益は3億25百万円（前年同期比4億39百万円増）となりました。

## ⑥ その他事業

その他事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は93百万円（前年同期比6百万円増）、営業損失は78百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて182億97百万円増加し、1,735億1百万円になりました。これは主に、「貸出金」が200億53百万円増加し、「預託金」が24億16百万円減少したことによるものであります。

## ② 負債

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて162億6百万円増加し、1,433億76百万円になりました。これは主に、「預金」が184億27百万円増加し、「長期借入金」が17億8百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて20億90百万円増加し、301億24百万円になりました。これは主に、四半期純利益10億62百万円を計上及び、「少数株主持分」が8億69百万円増加したことによるものです。

なお、平成23年6月29日開催の当社第54回定時株主総会において、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の件が決議され、資本準備金の額を32億38百万円減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、効力発生後のその他資本剰余金32億38百万円を繰越利益剰余金に振り替えて欠損填補しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主たる事業である証券業、商品先物取引業は、市場環境の変動の影響を大きく受ける状況にあり、業績予想を合理的に行うことが困難であることから、開示は行っておりません。なお、四半期業績の迅速な開示を行ってまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,688	30,844
預託金	11,019	8,603
顧客分別金信託	10,556	8,186
その他の預託金	463	417
トレーディング商品	374	865
商品有価証券等	374	865
有価証券	22,351	22,339
約定見返勘定	75	—
信用取引資産	9,181	8,958
信用取引貸付金	8,200	8,170
信用取引借証券担保金	980	788
貸出金	51,185	71,239
差入保証金	1,921	1,786
委託者先物取引差金	147	350
販売用不動産	6,357	5,296
仕掛販売用不動産	4,260	2,905
その他	3,168	2,963
貸倒引当金	△1,831	△1,580
流動資産合計	136,901	154,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,569	1,792
器具及び備品（純額）	1,163	1,074
土地	57	596
建設仮勘定	104	109
有形固定資産合計	2,894	3,572
無形固定資産		
ソフトウェア	275	346
その他	4	3
無形固定資産合計	280	350
投資その他の資産		
投資有価証券	2,018	2,165
関係会社株式	12,248	12,042
その他の関係会社有価証券	0	0
長期差入保証金	702	638
破産更生債権等	883	880
その他	175	175
貸倒引当金	△899	△897
投資その他の資産合計	15,128	15,005
固定資産合計	18,303	18,928
資産合計	155,204	173,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
約定見返勘定	—	497
信用取引負債	7,982	7,223
信用取引借入金	6,187	5,939
信用取引貸証券受入金	1,794	1,283
預り金	6,066	5,794
顧客からの預り金	5,441	4,731
その他の預り金	624	1,062
受入保証金	5,765	4,654
信用取引受入保証金	5,097	4,011
先物取引受入証拠金	285	315
その他の受入保証金	382	327
預金	83,401	101,828
短期借入金	1,290	450
1年内返済予定の長期借入金	7,724	8,877
預り証拠金	1,486	1,389
未払法人税等	234	241
賞与引当金	53	68
訴訟損失引当金	116	162
その他	3,573	4,751
流動負債合計	117,694	135,939
<b>固定負債</b>		
長期借入金	8,451	6,742
繰延税金負債	2	3
役員退職慰労引当金	17	17
負ののれん	398	61
退職給付引当金	125	131
その他	171	155
固定負債合計	9,166	7,111
<b>特別法上の準備金</b>		
金融商品取引責任準備金	147	163
商品取引責任準備金	163	163
特別法上の準備金計	310	326
負債合計	127,170	143,376



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,223	12,223
資本剰余金	11,057	7,818
利益剰余金	3,641	7,919
自己株式	△994	△994
株主資本合計	25,927	26,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△494	△286
繰延ヘッジ損益	△22	△18
為替換算調整勘定	△1,321	△1,350
その他の包括利益累計額合計	△1,838	△1,655
新株予約権	13	13
少数株主持分	3,931	4,800
純資産合計	28,033	30,124
負債・純資産合計	155,204	173,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業収益		
受入手数料	883	444
受取手数料	111	171
トレーディング損益	794	885
金融収益	209	183
資金運用収益	4,819	6,585
役務取引等収益	359	463
その他業務収益	195	547
売上高	765	4,343
営業収益合計	8,140	13,625
金融費用	78	66
資金調達費用	2,448	2,923
売上原価	521	3,352
純営業収益	5,091	7,282
販売費及び一般管理費		
取引関係費	739	846
人件費	2,156	2,535
不動産関係費	301	320
事務費	573	438
減価償却費	325	288
租税公課	53	81
貸倒引当金繰入額	156	△137
その他	339	436
販売費及び一般管理費合計	4,646	4,810
営業利益	445	2,471
営業外収益		
受取利息及び配当金	22	49
持分法による投資利益	251	144
投資事業組合運用益	174	—
負ののれん償却額	365	365
その他	16	61
営業外収益合計	830	621
営業外費用		
支払利息	61	131
為替差損	58	77
その他	16	16
営業外費用合計	137	224
経常利益	1,138	2,868

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>特別利益</b>		
金融商品取引責任準備金戻入	1	3
持分変動利益	—	5
損害賠償請求和解金	558	—
その他	107	0
特別利益合計	667	8
<b>特別損失</b>		
投資有価証券評価損	435	102
システム解約損失	389	—
その他	433	167
特別損失合計	1,259	269
税金等調整前四半期純利益	547	2,607
法人税、住民税及び事業税	222	594
法人税等調整額	—	△55
法人税等合計	222	538
少数株主損益調整前四半期純利益	325	2,068
少数株主利益	255	1,006
四半期純利益	69	1,062

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	325	2,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△377	207
為替換算調整勘定	86	△88
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	4
その他の包括利益合計	△295	123
四半期包括利益	29	2,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△268	1,244
少数株主に係る四半期包括利益	297	947

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連 事業	銀行関連 事業	商品先物 関連事業	債権管理回 収関連事業	不動産 関連事業	その他 事業	計		
営業収益									
外部顧客に対する 営業収益	1,879	5,374	120	645	95	24	8,140	—	8,140
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	0	—	—	—	—	62	62	(62)	—
計	1,879	5,374	120	645	95	86	8,202	(62)	8,140
セグメント利益又は 損失(△)	25	878	△322	3	△113	△35	436	8	445

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連 事業	銀行関連 事業	商品先物 関連事業	債権管理回 収関連事業	不動産 関連事業	その他 事業	計		
営業収益									
外部顧客に対する 営業収益	1,510	7,596	174	698	3,627	16	13,625	—	13,625
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	0	—	—	—	—	76	77	(77)	—
計	1,510	7,596	174	698	3,627	93	13,702	(77)	13,625
セグメント利益又は 損失(△)	0	2,452	△270	29	325	△78	2,458	13	2,471

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額13百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。